

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 16 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/16 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h	27.3 °C	4.0 kPa g	A系： -* vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h	35.6 °C	6.53 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h	33.9 °C	0.23 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%

※作業に伴いデータ欠測

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/16 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	26.6 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	26.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	25.2 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	7/10 10:28 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

・7/16 10:12~10:44 4号機使用済燃料プールから共用プールへの燃料移動作業において発生する構内用輸送容器(キャスク)内包水(4号機使用済燃料プール水)および構内用輸送容器(キャスク)内洗浄水については、沈降分離処理し、共用プール低電導度廃液受タンクで貯水しているが、同タンクから集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)への移送を実施。なお、本移送は今後も適宜実施していく。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/16 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・多核種除去設備A系については、同設備C系で確認された吸着塔フランジ部の微小なすき間腐食発生の対策(フランジ部へのガスケット型犠牲陽極の設置)を水平展開するため、7/8 13:39 に処理運転を停止していたが、本対策が完了したことから、7/15 17:09 に処理運転を再開。処理再開後の運転状態に異常は確認されていない。なお、本工事において、吸着塔の状況調査を行った際に、吸着塔2Aの配管フランジ部周辺の2箇所と同設備C系吸着塔と同様な微小なすき間腐食が確認されたが、C系で確認されたすき間腐食よりも小さく、フランジ部の健全性への影響は認められなかった。

<5. その他>

- H26/7/14 10:33 地下水バイパスにおける一時貯留タンク(Gr1)の貯留水について、当社および第三者機関による分析結果において、運用目標値を満足していることを確認したことから、海洋への排水を開始。
17:49 排水を終了。排水終了後、漏えい等の異常がないことを確認。なお、排水量は1,790m³。同日、この際の南放水口付近の海水についてサンプリングを実施し、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- H26/6/25～7/8 2号機トラス室壁面(東壁面北側)の貫通部を対象に、カメラ映像取得を目的とした「水中遊泳ロボット」、超音波ソナーによるドップラ計測画像取得を目的とした「床面走行ロボット」の実証試験を行うため、調査装置投入に向けて2号機原子炉建屋1階北東エリアの床面の穿孔作業を実施。
7/16～ 準備作業が終了したため、2号機トラス室壁面(東壁面北側)調査装置の実証試験を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

H4エリア I グループ No.5タンクからの漏えい等を踏まえ、既設タンクエリアにおいて実施してきた以下の漏えい拡大防止対策が7/13までに完了。

<漏えい拡大防止対策>

- 内堰の嵩上げを実施(鋼製板およびコンクリートによる嵩上げ)
- 内堰、外周堰の設置(堰の二重化)
- 内堰、外周堰内部について、樹脂被覆およびコンクリート被覆を実施(地表面への浸透防止対策)

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上